事例No.	2184
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県洲本市

事例区分	公会計

タグ	・公共施設活用 ・セグメント分析 ・適切な資産管理

事例種類	適切な資産管理

事例内容・タイトル

施設カルテを活用した公共施設の個別分析

出典

今後の地方公会計のあり方に関する研究会（第1回）

施設カルテを活用した公共施設の個別分析（兵庫県洲本市）

事例概要

○ 個別施設計画の策定に併せて、各施設の状況や今後の方針の検証ツールとして「施設カルテ」を作成。「施設カルテ」においては、固定資産台帳のデータを活用して、有形固定資産減価償却率と施設の利用状況を用いてマトリクス分析を実施。

取組内容

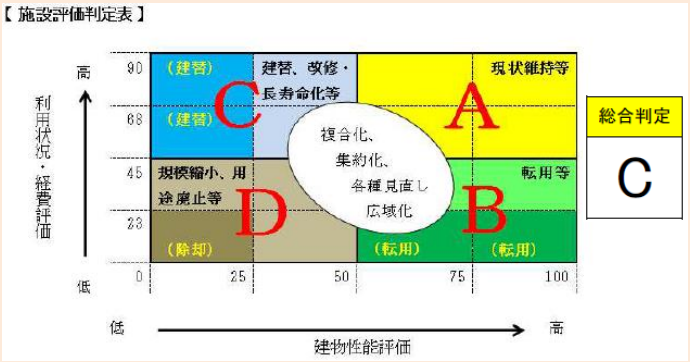
○ 平成30年度から本格化した個別施設計画の策定に関連して、同計画の対象施設について、関係部署と協議の上で、「施設カルテ」を作成。

○ 「施設カルテ」においては、固定資産台帳のデータから、取得価額や取得年月などの情報を引用。また、減価償却累計額を用いて、有形固定資産減価償却率を算出し、施設の利用状況等と組み合わせて、マトリクス分析を実施。

○ 「施設カルテ」における判定結果を基に、外部有識者からなる公共施設等再編整備検討委員会において、将来の財政収支や施設配置状況に大きく影響を及ぼすと思われる公共施設について、現地調査を実施。

○ その結果を踏まえつつ、委員会において、今後の施設の統廃合・用途廃止について検討を実施。今後、個別施設計画に検討結果を反映予定。

【施設評価判定表】



施設カルテ（抜粋）

基準日　平成30年3月31日

施設基本情報

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設
施設名	洲本中央公民館	所管課	生涯学習課

棟番号	施設名称等	取得年月	構造	延床面積（㎡）	取得価額（千円）	減価償却累計額（千円）	老朽化比率
1	洲本市市立洲本中央公民館	1969年2月	鉄筋コンクリート	1,006.38	135,861	130,427	96%
2	洲本子育て学習センター地域子育て支援拠点化改修工事	2018年3月	衛生設備		994	0	0%
計				1,006.38	136,855	130,427	95%

施設評価・判定

	項目	数値	平均値	判定	得点	判定基準
1	一人当たり経費（円）	-658	-881	B	20	A：平均値より30%以上少ない、B：0%～29%少ない、C：0%～29%多い、D：30%以上多い、比較対象のない単体施設はB
2	一人当たり面積（㎡）	0.03	0.11	A	30	A：平均値より30%以上少ない、B：0%～29%少ない、C：0%～29%多い、D：30%以上多い、比較対象のない単体施設はB
3	稼働率			A	30	A：稼働率75%以上～100%、B：50%以上～75%未満、C：25%以上～50%未満、D：0%以上～25%未満、稼働率が不明な施設はC
利用状況・経費評価（縦軸）					80	
4	老朽化比率	95%		D	0	A：老朽化率25%未満、B：25%以上50%未満、C：50%以上75%未満、D：75%以上
5	耐震性能			B	20	A：新耐震基準（1981年6月以降）で建てられた建物 B：新耐震基準でないが、耐震改修済、もしくは耐震診断で問題なしと判定された建物 C：耐震性能不安なし。耐震診断未実施（不明な場合はCに） D：耐震性能不安あり。耐震診断で問題あり
6	バリアフリー			D	0	A：バリアフリー新法対応（2006年12月～） B：改正ハートビル法に対応（2003年4月～） C：ハートビル法に対応（1994年6月～） D：法非対応（～1994年5月） ※B～Dでも、バリアフリー項目を満たしている場合はAとする。
7	自主点検			B	15	A：目立った問題なし B：微細な問題はあるが、事故に結びつく可能性は低い C：今後事故につながる可能性があり、改善が必要 D：事故発生の可能性が高く、早急な対応が必要 ※複数棟ある場合は、床面積の大きい主要な建物の評価に合わせます。
建物性能評価（横軸）					35	

効果等

○ 公共施設マネジメントを行う上で、固定資産台帳のデータをはじめとする各データを用いて「施設カルテ」による分析を行うことにより、客観的な評価が可能となり、評価結果を基にした改善・見直しにつなげることができる。